



© KINYA OTA (MILD)

© Makoto Nakagawa

# PIANO TRIO お気軽昼コンサート CONCERT

木嶋 真優 宮田 大 小林 愛実

2022

11月13日(日)

開場 13:45 開演 14:30

広島市東区民文化センター・ホール

(広島市東区東蟹屋町10番31号)

主催：広島市東区民文化センター

助成：芸術文化振興基金

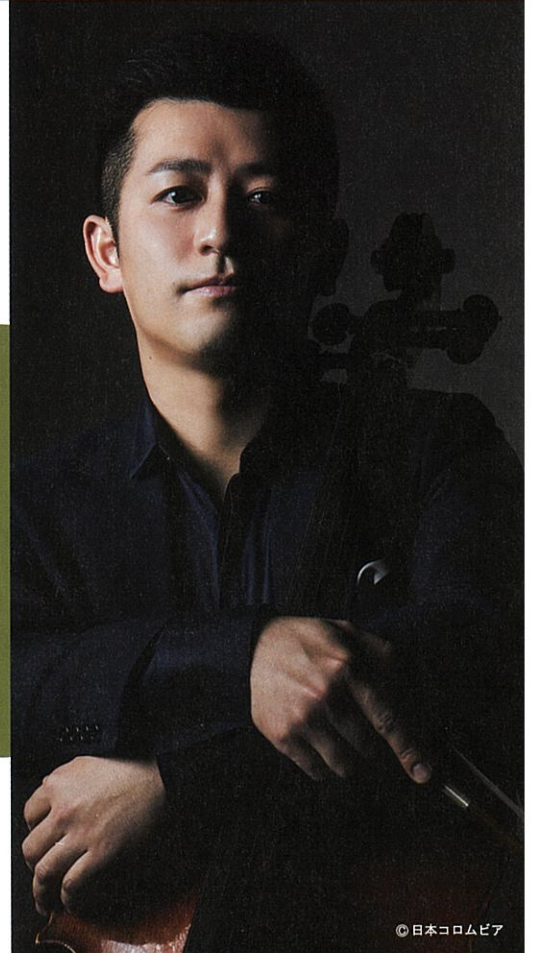
協力：日本音楽財団（日本財団助成事業）

後援：広島市教育委員会・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ

テレビ新広島・広島エフエム放送・ちゅびCOM・FM ちゅービー 76.6MHz



芸術文化振興基金助成事業



©日本コロムビア



# PIANO TRIO CONCERT



## 木嶋真優 Kishima Mayu (ヴァイオリン)

2016年第1回上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールにて優勝。2000年第8回ヴェニヤフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位を受賞。2011年ケルン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝、あわせてその優れた音楽的解釈に対し、David Garrett賞も受賞した。2012年春にはケルン音楽大学を首席で卒業。2015年秋には同大学院を満場一致の首席で卒業

し、ドイツの国家演奏家資格を取得、2016年秋には神戸市より神戸市文化奨励賞を授与された。レコーディングは、ウラディーミル・アシュケナージから強い推薦を受け、「アシュケナージ&NHK交響楽団」の“ツィガヌ”に参加。2020年12月にはキングレコードより新譜CD「seasons」をリリース。現在日本とヨーロッパに拠点を置き、リサイタル、オーケストラとの共演、室内楽など幅広く活動を行っている。2002年度文化庁海外派遣研修員。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェル、宗次コレクションより特別に貸与されたAntonio Stradivari 1699 “Walner”

## 宮田 大 Miyata Dai (チェロ)

2009年、ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。録音活動も活発で、最新アルバムは、2022年10月に『ラフマニノフ:チェロ・ソナタ』をリリース。2021年にウェールズ弦楽四重奏団、三浦一馬、山中惇史らを迎えた「Piazzolla」。2020年はギタリスト・大萩康司との初のデュオアルバム「Travelogue」。2019年はトーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコッティッシュ交響楽団との共演による「エルガー：チェロ協奏曲」をリリース。欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」において、コンチェルト部門（チェロ）で受賞。マスメディアでも「らららクラシック」「題名のない音楽会」「徹子の部屋」などへ出演している。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製 A.ストラディヴァリウス “Cholmondeley” である。



## 小林愛実 Kobayashi Aimi (ピアノ)

2021年10月「第18回ショパン国際ピアノコンクール」第4位入賞。1995年山口県宇部市出身。3歳からピアノを始め、7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たす。これまでに、スピヴァコフ指揮モスクワ・ヴィルトゥオーゾ、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラ、ジャッド指揮ブラジル響、ポスカ指揮チューリヒ・トーンハレ管など国内外における多数のオーケストラと共演。2010年14歳でEMI ClassicsよりCDデビュー。



サントリーホールで日本人最年少となる発売記念リサイタルを開催した。翌2011年にはセカンドアルバム「熱情」をリリース。2015年10月「第17回ショパン国際ピアノコンクール」ファイナリストとなった。2018年4月、ワーナークラシックスより、CD「ニュー・ステージ〜リスト&ショパンを弾く」を、2021年8月、最新CD「ショパン：前奏曲集他」をリリース。2018年8月、2022年7月には、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭に出演し好評を得た。フィラデルフィア・カーティス音楽院で、マンチェ・リュウ教授のもと研鑽を積む。2022年3月、第31回出光音楽賞受賞。

# PROGRAM

## 愛の挨拶 /エルガー

木嶋真優 宮田大 小林愛実

## ノクターン 第20番 嬰ハ短調「遺作」 /ショパン 小林愛実

## アヴェマリア /カッチーニ

宮田大 小林愛実

## オペラ「はかなき人生」より スペイン舞曲 /ファリャ

木嶋真優 小林愛実

## ピアノ三重奏曲 Interaction /中村暢之【新曲委嘱・初演】

I : Crossing

II : Sublimating

木嶋真優 宮田大 小林愛実

## 鮫 /ピアソラ

木嶋真優 宮田大 小林愛実

～・～ 休憩 ～・～

## ピアノ三重奏曲 第1番 OP.49 二短調 /メンデルスゾーン

木嶋真優 宮田大 小林愛実



作曲：中村暢之 Nakamura Nobuyuki

広島市出身。広島県立観音高等学校卒業。東京藝術大学・作曲科卒業後、スタジオワークを中心に作・編曲としての仕事を開始する。フルオーケストラ編成の楽曲からシンセサイザー音源制作まで幅広く真にプロフェッショナルな仕事を行う。近年は国内外の著名オーケストラとの多数共演も含め、TV・CD等音楽制作を中心に作曲家・プロデューサーとして多方面にわたり活躍中。主な作品にNHK連続テレビ小説「おんなは度胸」、TVアニメ「ちびまる子ちゃん」、ととてをつないで（しまじろう）、ひろしまへ（声楽、合唱）などがある。

### Interaction

相互作用、相互交流などと和訳され「複数のものがそれぞれに影響を与えあう/相互に作用する」といった意味で用いられる言葉です。この度の新作では三つの楽器～3人の奏者が絡み合い、触発されて展開・発展して行く様を楽しんでいただければと思います。

#### 第1部 Crossing (交差)

3部形式。其々が模倣や反発を繰り返し進みます。三者の対話にご注目ください。

#### 第2部 Sublimating (昇華)

比較的自由な変奏曲形式。テーマが少しずつ変容し、時に戻り、また混沌として行く。一つの昇華と捉えていただければ幸いです。

1+1+1がお互いの作用で4にも5にも∞にもなることがアンサンブルの大きな魅力です。聴衆の皆様をも巻き込んでそうなることを願っています。

中村 暢之



## 広島市東区民文化センター

【TEL】 082-264-5551 【FAX】 082-264-5774

【URL】 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/higashi-cs/>

※休館日：月曜日(但し祝日の場合は開館)

東区民文化センター主催事業

### ～お気軽 昼コンサート～

午後のひと時を、気軽に、優雅に日常から少し離れて、  
素敵な時間を楽しんでいただくコンサートシリーズ

今回は…国内外で活躍する若手人気ソリストたちによる、ピアノトリオ初共演コンサートです



新型コロナウイルス感染拡大予防対策へのご理解・ご協力をお願いします。